

セルリアンタワー能楽堂アコースティックライブ2019

沖仁 フラメンコギター セッション

バイレと長唄の邂逅

かいこう

II

二〇一九年一月二十八日(月)

※2回公演

午後三時開演(午後二時半開場)
午後七時開演(午後六時半開場)

沖仁

フラメンコギター

森田志保

バイレ

杵屋三美郎

長唄

伊集院史朗

パルマ/バイレ

容昌

パーカッション

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

「長唄とバイレをフラメンコギターが繋ぐ」というテーマを掲げた第一回目の公演は、お陰様で大変なご好評を頂いたと同時に、僕自身そこに大きな鉦脈のようなものを感知しました。一度で終わらせるのはあまりに惜しく思い、演目を変えつつ同じテーマを掘り下げるべく、この度第二回目の開催となりました。かねてから感じていた「フラメンコの東洋性」というテーマにも踏み込みながら、この日この瞬間だけのコラボをお届けしたいと思います。

沖 仁



沖 仁 フラメンコギター

1974年生まれ。14歳より独学でエレキギターを始める。高校卒業後、カナダで一年間クラシックギターを学んだ後、スペインと日本を往復し20代を過ごす。2000年5月帰国。02年「UNA MANANA EN BOLIVIA (ボリビアの朝)」をリリース。06年メジャーデビュー。07年NHK大河ドラマ「風林火山」紀行テーマ曲を担当。10年7月、スペイン三大フラメンコギターコンクールのひとつ「第5回 ムルシア "ニーニョリカルド" フラメンコギター国際コンクール」国際部門で優勝。日本人として初の快挙を成し遂げた。コンクールに挑む様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」がオンエアされ、大きな反響を呼ぶ。現在は東京を拠点にし、全国でソロ公演を開催。

また、フジテレビ系プログラム「ヨルタモリ」に常連客として度々出演した他、人気フィギュアスケートアニメ「ユーリ!!! on ICE」で主人公のショートプログラム曲を演奏するなど、メディアでの活動の幅も広がっている。国内外のオーケストラ、能、狂言、長唄、朗読との共演や、EXILEシングル曲「情熱の花」楽曲提供など、国内外でのジャンルを超えたトップアーティストとのコラボレーションも多数。デビュー15周年を迎えた2017年には、オリジナルアルバム「Clásico [クラシコ]」をリリースした。2018年10月31日、日本スペイン外交関係樹立150周年を記念したアルバム「Spain」をリリース。11~12月にはコンサートツアーを開催。

<http://jinoki.net/>



森田 志保 バイレ

スペインの文化であるフラメンコを日本人の踊り手として昇華し、フラメンコを踊ることを通して、国や民族を超えた普遍的なものをさまざまな形で表現している。その創造性に富んだ表現は高い評価を得ており、代表作である「はな」シリーズの公演「はな6」では2009年文化庁芸術祭優秀賞を受賞。演出家としての能力にも定評があり、2014年に発表した「PLATA Y ORO」ではスペインフラメンコ界の巨匠アントニオ・カナレレス、カルメン・レデスマを主演として、独創的な構成・演出を手掛ける。また、フラメンコの枠を超えた活動も数多く、近年はピナバウシュ舞踊団のソリスト、ジャン サスポータスなども共演。その他、2014年写真家 高木由利子とのコラボレーションで短編映画「gravitación」も手掛けている。2018年6月、金沢21世紀美術館で作品「フラメンコ巡礼」を公演。8月、スペイン・ヘレスで開催されたフェスティバル「第51回 Fiesta de la Bulería」に出演。日本におけるフラメンコ文化の発展を牽引する存在として、活躍し続けている。

©高木由利子



伊集院 史郎 バルマ/バイレ

1974年生まれ。慶応義塾大学在学中にフラメンコに出会う。98年渡西。約2年の滞在の中に、主に踊りをエル・トロンボ、ファルキートに、カホンにマヌエル・ソレルに師事。以後渡西を繰り返す。2001年日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2002年「クアトロカミーノ」結成。7度の全国ツアーを展開。2005年「愛・地球博」スペインパビリオンの「アンダルシア週間」に、アドリアン・ガリアのカンパニーとして出演。2006年マリア・パハス「Sevilla」日本公演に出演。同年、自主公演「Reflejo」を吉祥寺シアターにて行い、好評を得る。2007年、マドリドのフラメンコフェスティバル「SUMA FLAMENCA」に参加。また、習得が難しいとされるバルマ(手拍子)を、豊富な経験と独自の的方法論により実践。現在、全国の劇場、クラブで活動するかたわら、後進の指導にも積極的になさざわっている。



杵屋 三美郎 長唄

1978年生まれ。長唄 唄方。東京藝術大学邦楽科卒業。三代目 杵屋三左衛門に師事。杵屋彌三右衛門、東音三野村千枝子の長男として生まれ、幼少より三味線の手ほどきを受ける。歌舞伎座、国立劇場等での歌舞伎公演をはじめ、大阪松竹座、京都南座など全国の劇場に出演している。また海外公演にも多数参加しており、近年では平成中村座ニューヨーク公演、日中国交正常化45周年記念 北京公演、日仏友好160周年記念ジャポニズム2018 ハリ公演に参加し好評を博す。八代目 中村芝翫襲名巡業においてタテ唄を勤めるなど、歌舞伎公演においてタテ唄や独吟などを勤める機会が増えている。また同期の演奏家らと「長唄 むつみ會」を主宰し古典芸能としての長唄を伝承すべく研精を重ねている。



容 昌 パークッション

米、パーカリー音楽大学卒業。在学中「Outstanding Percussionist Award」を受賞。卒業後、拠点をニューヨークに移し、サルサバンド「OASIS」のメンバーとして活動。同時期にプエルトリコに渡りセペーダー一家に伝統音楽を学ぶ。帰国後フラメンコでの活動を始め、以後アントニオ・カナレレスやマノロ・マリンドら数多くの著名なアーティストと共演。2017年、スペイン、セビージャ市にて「Veranillos Flamencos del Alamillo 2017」に、ピアニスト、リカルド・ミーニョと共に出演し、フラメンコ芸術に対する感謝状を贈られる。現在、フラメンコ・ポップバンド「soluz」を結成し、ピクチャーよりアルバムをメジャーリリース。NHK-BSをはじめ多くのメディアに出演。また、青春、サラ・オレイン、井上あずみ、スバリポートハワイアンズCMなどのレコーディング。劇団四季公演のアレンジ、指導。フラメンコギタリスト沖仁ツアー参加など、フラメンコ・パークッション奏者として様々な舞台で活動中。

2019年 1月28日(月)

午後3時00分開演 (午後2時30分開場)

午後7時00分開演 (午後6時30分開場)

◎前売開始：2018年10月28日(日) 午前10時より

◎料金：S席(正面・脇正面) 8,500円
(税込) A席(中正面) 7,500円 ※料金は各回ごと

◎チケット申し込み：

- ▶ Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999(10:00-17:30)
- ▶ オンラインチケットMY Bunkamura <http://my.bunkamura.co.jp> [PC・スマホ対応/座席選択可]
- ▶ Bunkamura チケットカウンター Bunkamura1F(10:00-19:00) ※11/15(木)まで休業
- ▶ 東急シアターオーブ チケットカウンター 渋谷ヒカリエ2F(11:00-19:00)
- ▶ チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:132-296) <https://t.pia.jp/>

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。
※休憩時間に、能楽堂隣「金田中」入り口にて、軽食の販売をいたします。
※お食事付のセットプランチケットをご希望の向きは、セルリアンタワー東急ホテルにてお求めいただけます。
お問合せ・お申込み ホテルタワーズレストラン「クアーニョ」(40F) 03-3476-3404(10:00-22:30)

「渋谷駅」国道246線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階。

